

2026年度日系社会研修 コース概要

No	32
所管センター	横浜
分野	日本文化
研修コース名	太鼓の技術認定及び指導者育成
受入人数	8
受入時期	下半期
来日日	2027年1月20日（水）
帰国日	2027年3月6日（土）
提案団体	公益財団法人日本太鼓財団
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.osuwadaiko.com/
研修員必要資格	必須資格： ・2026年4月時点で21歳以上である ・日本語能力試験（JLPT）N3以上を取得している ・日系社会において太鼓を指導（5団体以上）または演奏している ・太鼓活動を始めて5年以上である 望ましい条件： 日本太鼓資格認定制度に基づく公認指導員または技術認定員の資格を取得している *資格を取得している場合は認定証を提出、または取得年月日と講習会参加場所を明示
研修員に必要な実務経験年数	その他（必要資格欄に記載）
研修使用言語	日本語
日本語能力（JLPT目安）	N3
英語能力	不問
研修目標	①研修員が、長野県岡谷市において研鑽を重ねながら、講習会開催時には開催地に赴き、技術認定員資格の取得または指導員としての認定を目指す。 ②全国各地の太鼓団体において多様な打法に触れ、また指導法を学ぶ。 ③太鼓の製造過程を見学すると共に可能な限り、製造・修理技術を習得する。
期待される成果（習得する技術）	①研修員が日本太鼓について並びに日本太鼓資格認定制度の全体像の理解を深める。 ②研修員の太鼓技術を向上させ、太鼓指導者としての資格取得の可能性が増大する。 ③研修員が太鼓の製造過程を体験することができる。 ④研修員が学んだ太鼓技術を活かし、将来的に指導員として南米での太鼓指導が可能となる。 ⑤研修員が帰国後に太鼓製造に関してアドバイスが可能となる。 ⑥研修員が日本の太鼓事業に参加し、実践経験を積むことで自国における活動に活かされる。
研修計画（内容）	①太鼓の技術研修：全国各地の日本を代表する太鼓チームにおいて、技術を習得する。 ②日本太鼓全国講習会及び支部講習会等で技術認定員及び公認指導員の資格取得を目指す。 ③障害者に対する太鼓の指導法を学ぶ。 ④日本の太鼓製造工場において、製造過程を見学しながら可能な限り体験実習することにより太鼓の製造方法・修理方法を学ぶ。 ⑤講習会に参加することにより、事業運営を学ぶ。
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	この事業が展開されることにより、中南米各国で太鼓活動を行っている者にとっては、技術の習得及び日本と同様の資格認定を受けることが可能となるため、大きなモチベーションに繋がり、飛躍的な発展と太鼓を通じて日本文化の継承が図られると期待される。
連絡先メールアドレス	jigyo@nippon-taiko.or.jp
応募希望者への特記事項	◆動画選考について 書類・面接選考合格者は、課題曲（譜面）の演奏を動画で撮影し、提出してください。 応募・選考の流れは以下のとおりです。 1. 各国のJICA事務所に応募書類を提出する。 2. 各国のJICA事務所の書類・面接選考合格者は、上記に記されているメールアドレスへ課題曲の動画を提出する。 3. 日本国内において、応募書類と課題曲の動画とで選考し、最終合格者が確定となる。 ◆宿舎について 長野県岡谷市の宿泊施設を拠点とし、必要に応じて各研修地に近いホテル等を使用する。 ◆研修員の負担費用について 講習会の参加費、受講料、検定料（技術認定のみ）、講習内検定料（公認指導員を目指す者のみ）、認定料等、資格取得に必要な費用は研修員の負担とする。 参加費：毎回4,000円程度（実施によって多少の増減あり） 技術認定員取得を目指す場合：講習会1回につき受講料9,000円、検定料（試験）1回につき2,000円 公認指導員取得を目指す場合：講習会1回につき講習内検定料5,000円、 技術認定員認定料：2級技術認定員（10,000円）、1級技術認定員（20,000円）、 公認指導員認定料：3級公認指導員（30,000円）、2級公認指導員（50,000円）、1級公認指導員（100,000円）

2026 年度日系社会研修員受入事業

課題曲について

☆譜面の見方について

- ・一線譜の上が右手、下は左手で演奏します。
- ・×印で表された音符は、縁（フチ）を打つことを表します。
- ・↑印は腕を上げることを表します。

一線譜の上に↑印がある場合は右手を、一線譜の下に↑印がある場合は左手を上げてください。

- ・口伝の「ドン」は右手で鼓面を打ち、「コン」は左手で鼓面を打つことを表します。

また、「カン」は右手で縁を、「ラン」は左手で縁を打つことを表します。

☆演奏上の留意点について

①長胴太鼓（サイズは問わず）を使用し、据え置き台にセットし立って演奏を行ってください。

②楽譜に記載の通り演奏を行ってください。

- ・楽譜に記載のない音・掛け声は行わないでください。
- ・指示速度を守ってください。
- ・強弱記号、反復記号は指示通りに演奏して下さい。

☆撮影上の留意点について

- ・全身が入る前方やや斜めの位置からの撮影してください。
- ・撮影は、横長・縦長どちらの構図でも構いません。
- ・マイクは使用せず生音を収録してください。
- ・撮影した動画の加工・編集は行わないでください。
- ・送信可能な拡張子：「mov（iPhone・iPad 形式）」または「mp4（android 形式）」をお願いいたします。

2026年度日系社会研修員受入事業 課題曲

(公財)日本太鼓財団

♩ = 90

ドン コン ドン コン ド コン コ ス コ ドン

ド コン コ ドン ド コ ス ド ス ラ ドン カラ カ ラ

3 ス ド ス コ ド コン コ ス ド コ ドン カラ ドン カラ ドン

5 ドン コン ドン コン ドン ド コ ドン ド コ ドン ド コ ドン ド コ

7 ドン コン ドン コン ド コ ド コ ド コ ド コ ド コ ド コ

9 ド コン コ ドン コン

11